

疾患別診療計画書

胃切除術を受ける方へ



項目	手術2日前～1日前	手術日 術前	手術日 術後	術後第1病日	術後第2～3病日	術後第4病日	
準備するもの	書類 手術・麻酔の承諾書などを記載し看護師に渡して下さい。						
	物品 T字帯1枚・腹帯1～2枚準備して下さい。 (1階の売店でも購入できます。) 手術時に履く弾性ストッキングは、看護師がサイズを計測し、準備いたします。						
治療	処置	入院時にネームバンドを右手首に付けていただきます。 	朝、浣腸をします。手術前に弾性ストッキングをはきます。ご自身の前あきのパジャマまたは手術衣に着替えていただきます。	帰室後翌朝まで酸素を行います。30分から1時間毎に全身状態を観察します。鼻から胃へ管が入ります。お腹に管が入ります。	1日5回検温します。鼻の管が抜けます。歩行後、弾性ストッキングを脱ぎます。	1日4～5回検温します。術後2日目に背中に入っている痛み止めの管を抜きます。 	
	清潔	おへその処置をさせていただきます。その後入浴してください。また爪も切っておいてください。	洗面・歯磨き・ひげ剃り等をすませておきましょう。 		体を拭いてパジャマに着替えます。歯磨き・洗面も行ってください。	看護師が体を拭きます。3日目以降は、シャワーが可能です。	
	内服	<input type="checkbox"/> 午後2時より下剤を内服していただきます。 <input type="checkbox"/> 病状によっては下剤のない場合もあります。	指示のあった薬のみ服用してください。 	飲み薬はありません。			必要な内服を再開します。
	薬剤		午後の手術の方は点滴を行います	24時間持続点滴をします。			
	点滴			帰室後、1回抗生物質の点滴を行います。	1日2回抗生剤の点滴をします。(第2病日まで)		
	鎮静・鎮痛剤	眠れない時は睡眠薬をお渡します。看護師に伝えて下さい。 		背中に痛み止めの管(2日目に抜きます)が入っています。眠れない時や痛みのある時は看護師に伝えて下さい。		眠れない時や痛みのある時は看護師に伝えて下さい。	
	検査	<input type="checkbox"/> レントゲン・心電図・血液検査を行います。	<input type="checkbox"/> 糖尿病の既往のある方は、1日3回血糖を測定します。		血液検査・レントゲンを行います。		
食事	手術前日の夕食は流動食をお出します。手術前日の21時以降は、食べ物を口にしないで下さい。	飲水は3時まで可能です。それ以降は飲んだり食べたりできません。うがいは出来ます。 				飲水できるようになります。(水・お茶・スポーツドリンク) 	
安静度	特に制限はありません。 		手術後はベット上安静ですが、寝返りはできます。	起立・歩行が可能となります。初めは看護師がお手伝いします。	特に制限ありません。 		
排泄	室内トイレをご利用下さい。 		排尿は管が入っています。大便是ベット上で排泄していただきます。	午前中に膀胱に入っている管を抜き、看護師が介助してトイレまで歩きます。以降は室内トイレをご利用下さい。排泄毎に尿量測定し用紙に記入して下さい。 			
説明・注意事項	看護師が入院生活・手術に関する説明を致します。手術後の食生活に関するパンフレットをお渡しします。医師より手術についての説明を致します。薬剤等に関するアレルギーのある方はお申し出下さい	眼鏡・義歯・指輪等は外しておいてください。担当医師より手術後、ご家族へ説明があります。ご家族は手術終了まで談話または病室で待機しててください。		腸の動きを回復させるため、体を動かしましょう。痰は飲み込まず、必ず出して下さい。 	排ガス・排便がありましたらお知らせください。	食事摂取方法についてお話しいたします。(パンフレット参照)	